

### 避難所 指定表示板を設置

市では災害が発生した場合の避難場所として市内61カ所を定めていますが、このほど「避難所指定表示板」を各避難所に設置しました。

表示板は、横1.5m、縦0.9mで白と黄の地に「災害時避難所・大館市」と大書きされています。皆さんの避難所をいま一度確認しましょう。



## 火災の出火原因 相変わらず多い「うっかり油断」型



58年  
消防白書

広域圏組合消防本部では、五十八年中の火災発生状況と救急車の出動状況をまとめました。これによると当市での火災発生件数は、前年に比べて二件増加しましたが、損害額は逆に減少しました。また救急車の出動件数は、四十一年の業務開始以来最高となりました。

火災損害額は  
過去五年で最低

五十八年中の当市の火災発生件数は、二十三件で前年に比べて二件増加となりましたが、逆に損害額は八千七百八十八万円で過去五年間で最も少ない記録になりました。

また、火災の発生を月別に見ると二月が五件で最も多く、一月が四件、十二月が三件で、冬期間の火気の使用する時期に多発しています。

出火原因では、ヘヤードライヤー、電気コンロなどのスイッチの切り忘れや修理を要する器具を安易に使っていたこと、たばこの火

救急車の出動件数は  
過去最高

五十八年中の大館市の救急業務の実施状況は、出動件数が一千六十七件で、五十五年の一千二十二件を上回る過去最高となっております。市民六十八人に一人が救急車で搬送されたこととなります。

### 大館市史第二巻 「近・現代編(上)」を発売

市では、大館市の歴史書「大館市史」の編さん事業を進めていますが、既刊の第一、二、四巻に続いて第三巻「近・現代編」の上巻を発売しました。購読ご希望の方は市史編さん委員会までお申し込みください。なお、一・二・四巻の残部もありますので、併せてご購読ください。

〈本の内容〉

- 第一章……明治の「新政」と大館
- 行政制度の確立と大館
- 「文明開花」の人びとの生活ほか
- 第二章……産業の発展と人びとのくらし

第三章……大正時代の社会と文化

救急出動状況(大館市分)

種別	件数
急病	599
交通事故	227
一般負傷	101
転院	66
労働災害	24
その他	50
計	1,067

事故種別による救急出動状況を五十七年に比較してみますと、急病による出動の五十一件増をトップに、一般負傷十件、交通事故・労働災害などが増え、また月別では五月から八月にかけての出動が多くなっています。消防本部では三台の救急車を配置して救急業務を行っていますが、五十八年中の出動件数の中には、緊急を要しない出動要請もかなりあり、生命にかかわる傷病以外の出動要請はしないように協力を呼びかけています。

### 市長の 対話ノート



No.82

競存競栄

「共存共栄」見慣れた言葉で、そして聞き慣れた言葉です。ところで、この「共」の字を、「競」の字に変えてみたらどうでしょうか。「競存競栄」となります。自由主義社会は競争原理社会であり、ですから当然のことながら「競存競栄」社会ということになります。

では、どうして競存競栄社会と云わないのか。それは余りにドギツイ表現であるとの配慮からかもしれません。「共存共栄」はまさにその配慮の表現にはかならないと思うのです。

それはさておき、私たち人間社会には、「共存と競存」「共栄と競栄」が同居しなければ、活力は生まれないのではないのでしょうか。

「共存」ということで自己を主張することがなくなっても困りますし、逆に「競存」ということで、弱肉強食の社会になっても大変なことです。両者が互いに競い、協調する中に「繁栄」が生まれるのではないのでしょうか。

新しい年の経済活動も、樂觀は許されません。こんな時節であるだけに、創意と個性の面では大いに競い、厚い壁には協同の力を発揮していかなければならないと考えます。

私たち人間の歴史は、この道を、この原理の試練を幾度も繰り返して今日の社会を築きあげてきたことを、忘れてはならないのです。

留山健治郎

### 各種相談日

ところ・市役所会議室

- 交通事故 2月14、21、28日
- 法律 2月20日
- 社会保険 2月20日
- 家庭教育 2月6、13、20、27日
- 国税 2月27日

〈申し込み〉  
大館市字中城二十番地  
大館市史編さん委員会  
☎49-3111 内線237  
〈価格〉 三千八百円